

# 海士町

歴史と豊かな自然により  
育まれてきた島

## 海士町DATA

- 人口:2,275人(R4.10月末)
- 世帯:1,273世帯(R4.10月末)
- 面積:33.5km<sup>2</sup>
- 町のスローガン:  
「心ひとつに みんなでしゃべる 島づくり」、  
「ないものはない」、「承前啓後の島づくり」
- 特産品:本気米、隠岐牛、いわがき「春香」、  
ふくぎ茶、島かんべ、海士町みかん
- PRスポット:奇岩を含む変化にとんだ海岸線、  
島独自の歴史文化
- 主なお祭り・イベント:キンニヤモニヤ祭り、  
隠岐神社大祭

海士町



## 三郎岩



菱浦漁港の出口東側の海上に垂直に立つ大・中・小の3つの奇岩。まるで兄弟のように仲良く並ぶ3つの奇岩。大きいほうから「太郎・次郎・三郎」と呼ばれ、地元の人たちから親しまれています。

MAP:C2



## 明屋海岸

海食崖や海食洞が約1kmにわたって続く景勝地。約280万年前の噴火によってできた屏風岩と呼ばれる岩があり、海士町の代表的なジオサイトでもあります。ある角度から見るとハートにくり抜かれたように見えることから、通称ハート岩として人気のスポットです。



MAP:C2



## 承久海道

### キンニヤモニヤセンター

海士町の玄関口として隠岐汽船や内航船の発着場、島内のバス・タクシーなどのターミナル機能の役割を持つほか、観光案内所、漁港の直売所、郷土料理が味わえるレストランが併設されています。

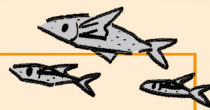
MAP:B2



## OKI伝説物語

### あご石神事

トビウオのことを「あご」といいます。あごに似た形の石「あご石」を24個、海岸で拾ってきます。元旦、あご石を神社に納めて、かわりに前の年に納めたものを取り出します。そして、その石を海に向かって、「大漁」のかけ声とともに投げるのです。これが宇受賀命神社で続く「あご石神事」です。投げられた石は、あごとなって海に帰るといわれ、不思議と消えてなくなります。



海士町より  
奈良時代より遠流の島として小野篁、後鳥羽上皇などの「ター」を受け入れてきた海士町。その背景には豊かな海や湧水に恵まれ自給自足のできる半農半漁の島であったからこそだと思っております。今は「ひとの還流」「暮らしの環境」「里山里海の循環」といった3つの「かん」をテーマに、産業や教育をはじめ、島の原風景を次の世代に繋ぐ「インフラ整備を実施しながら海士らしい承前啓後の島づくりを目指しています。」

ないものはない...「ないもの」はなくていい。  
大切なモノゴトはすべてここにある。

海士町(中の島)は、平城京跡から海士町の干しアワビ等が献上されたことを示す木簡が発掘されるなど、古くから海産物の宝庫として御食つ國に位置づけられたように、隠岐周辺の海域は豊かな海産物に恵まれ、古くから漁業が盛んです。また、豊富な湧水と、約280万年前の火山活動によってできた平地を利用した稲作も盛んで、食料を自給自足できる半農半漁の島です。

また、歴史的には、奈良時代から遠流の島であり、遣唐副使の小野篁や、鎌倉時代には承久の乱で敗れた後鳥羽上皇など高貴な方々もご配流となつているため、貴重な文化遺産が多く残っています。よそ者(今で言うイタターン)を受容するメンタリテイが島に根付いているのも、古来から流人を受け入れてきた歴史に因るのかもしれません。

さらには、文化遺産だけでなく、海士町を含む隠岐全体には様々な地質遺産や世界的にも珍しい独自の生態系が残されており、平成25年には世界ジオパークに認定され、その後、令和3年7月には隠岐ユネスコ世界ジオパークの泊まれる拠点施設として「Entô(エントウ)」が誕生し、今後の観光振興が期待されています。

## 隠岐神社



MAP:C2

昭和14年、後鳥羽天皇の700年祭の年に御神徳をひろめるために創建されました。神社は隠岐造り変態といわれる様式で、5万6,000平方メートルの境内に銅板葺きの本殿、祝詞舎、拝殿、神饌所、祭器庫、宝物館、神門回廊、社務所などが配置されています。4月14日と10月14日が例祭日で、後鳥羽天皇の御製「我こそは新島守よ隠岐の海の荒き波風心して吹け」に音楽と振り付けした承久楽(じょうきゅうがく)が奉納されます。また、神社の前には海士町後鳥羽院資料館があり、後鳥羽天皇にちなむ品々が展示されています。



## Entô(エントウ)

隠岐ユネスコ世界ジオパークの泊まれる拠点施設として注目されています。

MAP:B2





# 海士町 インフラMAP

AMA CHO

- 公共トイレ
- 病院
- 充電スポット
- キャンプ場・体験施設
- 商店
- 自動販売機
- 郵便局・農協・銀行窓口&ATM
- 食事処
- ガソリンスタンド
- ダム
- 港湾・漁港、空港
- 海岸、運河・放水路
- 建築
- 橋
- 灯台
- 浄水場
- その他
- 道路、トンネル
- エネルギー施設、発電所
- 自然公園・園地・遊歩道、公園

※インフラマップへの掲載店舗等は、(一社)隠岐ジオパーク推進機構発行のパンフレット(令和4年5月現在の情報)を参考に作成しています。予めご了承ください。

## 島前ウォーキング 海士コース

約17km  
約10km

中ノ島(海士町)では、菱浦漁港から隠岐神社・宇受賀命神社を巡り港に戻るコースで、途中の高台から見える田園風景に心が和みます。

## PICK UP/

### 隠岐神社・宇受賀命神社参拝

～島民の心を束ねるよりどころ、そして田園地帯の鎮守の森にて歴史探訪～

隠岐神社は後鳥羽天皇を祀った町を代表する神社で、桜の名所としても知られ、夜の隠岐神社参りなど島の盛り上がりにも一役買っています。宇受賀命神社は、延喜式神名帳では最高位の名神大社に名が載る古社です。島後に向かい正面側で、海の波音が最もよく聞こえる位置に境内があり、古くから島の安全を守る神として崇められてきました。





【島前】  
DOZEN  
海士町

# 賑わいの玄関口の

海士町の玄関口として栄えた菱浦漁港。

「承久海道キンニヤモニヤセンター」や海沿いに静かにた  
ずむEntô(エントウ)が真っ先にみなさまを出迎えてく  
れます。

さらに、近くには、明治の文豪小泉八雲が明治25年に滞在  
されたことを記念して、宿泊された岡崎旅館跡地に佐渡公園  
(八雲広場)が整備されています。



地球にぼつん。  
眼前に広がる手つかずの  
ジオの風景。  
なにもないが、  
すべてがここにある。



## 菱浦漁港(キンニヤモニヤセンター)

島にある14の自治会のうち最も人口が多く、また島の玄関港として栄えた菱浦漁港。ここでは、毎年夏にはキンニヤモニヤ(地元で伝わる民謡)祭や花火大会(打上花火、水中花火)が開催されています。「承久海道キンニヤモニヤセンター」は、隠岐汽船や内航船、バス・タクシーなどのターミナル機能の役割を持つほか、海士町の観光案内所、海士町漁協の直売所、海士町役場の産業三課などが入っています。地元産の野菜やお米・特産品などのお土産が揃い、さまざまな海士の郷土料理が味わえる軽食・レストランも併設されています。



管:海士町環境整備課 所:海士町福井 P:あり  
竣:平成14年4月 キンニヤモニヤセンター  
型:木造2階、延床面積1,562.92㎡

MAP:B2 ID:P-1



## 佐渡公園(八雲広場)



## えんとう Entô



明治の文豪小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)は、その著書「怪談」などで有名ですが、明治25年には菱浦湾の畔にあった岡崎旅館に8日間滞在しました。現在、旅館跡地は佐渡公園として整備されています。佐渡公園の「佐渡」とは地元の発展に尽力をされた佐渡卓さんにちなんで名付けられ、『八雲広場』として小泉八雲の「来島百年 愛蘭士大使友好記念碑」、「小泉八雲と妻セツさんの夫婦像」などが建立されています。



所:海士町福井

MAP:B2 ID:N-3



所:海士町福井 型:本館5階/別館3階、敷地面積5,666.21㎡

MAP:B2 ID:A-1

ジオパークの入口として、地球の誕生から現在まで、長い時間軸の中に生きていること、これからの地球のためにできること。Entôにはそんな気づきを得るヒントが随所にちりばめられています。1つの施設に、客室や温泉をはじめとする宿泊機能と、ジオパークの魅力を最大限体験するための機能を内包するEntô。館内を散策すれば、「なぜここに!」思わぬ出会いに遭遇することも。道しるべとなるサイン1つ、さりげなく設えた家具1つ……施設のすべてが、窓の外、広がるジオパークとつながっている、「泊まれる拠点」Entôです。





## 農地整備

島前カルデラ地形を形成した噴火よりずっと後、約280万年前に明屋海岸付近で噴火が起こり、玄武岩質の溶岩や火砕流が流れ出たことにより平地ができ、生活に欠かせない食料資源である「米」を作ることが可能となりました。海士町は、名水百選に選ばれた豊富な湧水に恵まれ、古くから自給自足のできる半農半漁の島として、ヒトと自然が共存しています。昭和38年から令和2年まで108haの田畑の圃場(ほじょう)整備が行われ、豊かな米と水に恵まれた島となりました。

所:海士町内  
農業:田んぼ耕作面積 約112ha(令和2年度)  
水稲作付面積 約80ha(令和2年度)

MAP:C2 ID:O-2



海士町では、豊富な湧水と約280万年前の火山活動によってできた平地を利用した稲作が盛んであり、昭和38年から農地整備(圃場整備)が行われてきました。島の東側の金光寺山からは、広大な農地や漁港、島々を一望できます。

## 【島前】 DOZEN 海士町

# おすすめ インフラめ



## 知々井トンネル

覆工のない素掘りトンネルとして昭和33年7月に完成しましたが、平成16年にはトンネル内に覆工・盤下げを施工し、現在の姿となりました。島根県内でも数少ない「ひらがな」の銘板「知々井とんねる」が時代を感じさせます。

所:海士町知々井  
型:長さ99.8m、幅員4.5m、馬蹄型

MAP:C3 ID:R-1



## 後鳥羽院資料館



管:海士町教育委員会  
所:海士町海士  
竣:昭和55年開館  
型:鉄筋コンクリート造  
一部木造2階

MAP:C2 ID:A-2



昭和55年に開館した後鳥羽上皇や隠岐神社創建時の奉納品などを展示する町の資料館。後鳥羽院は子順徳天皇らと組んで倒幕を計画、1221年倒幕の院宣を發し、幕府の大軍に完敗(永久の乱)し、中の島に流され、ここで没しました。令和3年には遷幸800年記念とし、島の人で作られた「島民劇」や、島一周神輿渡御、刀剣奉納、牛突きなどのイベントが開催されました。海士町には後鳥羽院に由緒を持つ、たくさんの方の伝承と文化が豊かな自然環境とあいまって昇華され、今日に伝えられています。



## 中ノ島海岸



中ノ島海岸は、昭和52年に海岸保全区域に指定され、離岸堤や階段式護岸の整備が進められてきました。炊事場や休憩所・トイレが整備され「風呂屋海水浴場」として利用されており、穴場的なビーチとなっています。

管:隠岐支庁県土整備局  
所:海士町御波  
P:あり(10台)

MAP:B3 ID:C-1



## 2つの ハート

### 木路ヶ崎灯台



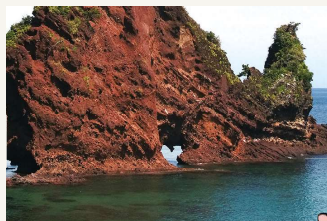
展望台の地面にはハートがたくさん描かれた方位盤があり、女性にも人気のスポットです。

所:海士町崎

MAP:B4 ID:L-3



### 明屋海岸 ハート岩



明屋海岸には、波の侵食でハート型にくり抜かれたように見えるハート岩があります。

所:海士町豊田

MAP:C2



## 海中展望船あまんぼう



「あまんぼう」で行く海中散歩にハズレなし!海士町の海を水上と水中の両方から楽しめる、半潜型展望船です。菱浦漁港を出発して名所「三郎岩」など、海士町の見どころをぐるっと巡っています。注目はなんといっても海中展望室からの景色です。船内にいながら、さまざまな魚たちが群れをなして泳ぐ姿や、大きな海藻がゆらゆらとゆれる様子を楽しめます。

所:海士町福井 問:株式会社海士、(一社)海士町観光協会

MAP:BC2 ID:O-3



# 西ノ島町

## 西ノ島町DATA

- 人口:2,617人(R4.10月末)
- 面積:56.04km<sup>2</sup>
- 町のスローガン:「人の集う島へ」、「夢と笑顔のあふれる街 西ノ島」
- 特産品:いわがき、各種海産物
- PRスポット:奇岩を含む変化にとんだ海岸線、島独自の歴史文化
- 主なお祭り・イベント:由良比女神社例大祭(2年に1回)、精霊船(シャラ船)流し、西ノ島ハーフマラソン



NISHINOSHIMA CHO

# 西ノ島町

## 壮大な海と大地と歴史と文化を 全身で感じさせてくれる島

一回来てみなさい。:島の大きさと人が感じる大きさは必ずしも比例しない。

西ノ島町は、北前船の風待港として栄え、上方文化の影響を直接受けるなど流人の島として文化的に比較的恵まれた環境であり、隠岐周辺の海域では豊かな海産物に恵まれ、古くから漁業が盛んです。また、日本で初めて岩ガキの養殖に成功した島でもあります。

歴史的には、鎌倉幕府討幕に失敗し、隠岐へ流された後醍醐天皇が島を脱出するまでの1年間、雌伏していたとされる伝説の地「黒木御所跡」。隣接する黒木神社には、700年経った今も後醍醐天皇の魂が祀られています。また、焼火山の中腹にある焼火神社は、隠岐への航海中、遭難しかけた後鳥羽上皇が御神火で導かれたと伝えられ、日本海の船人に海上安全の神と崇められています。

さらには、文化遺産だけではなく、西ノ島町を含む隠岐全体は様々な地質遺産や世界的にも珍しい独自の生態系が残されており、平成25年には世界ジオパークに認定され、世界からも認められています。

## 国賀海岸 摩天崖 観音岩 通天橋



摩天崖は、海食作用によって出来た崖で海拔257mの大絶壁です。観音岩は、国賀海岸の奇岩の中でもひととき細長くそびえ立ち、夕日が落ちる頃、火が灯ったろうそくに見えることから「ローソク岩」とも呼ばれています。通天橋は、海に大きくせり出した巨大な岩の架け橋で、岩石の中央部が海蝕作用によってえぐりあげられたものです。周辺一帯の放牧地では、牛馬の姿が見られ、大山隠岐国立公園に指定されている隠岐最大の景勝地、国賀海岸にある代表的な観光地です。



MAP:A2

## 由良比女神社 イカ寄せ浜



由良比女神社は、「隠岐国一の宮」延喜式神名帳に見える古社で漁業神、海上守護神として島内の信仰を集めています。イカ寄せ浜は、鳥居が海中に立ち、その入江にイカの大群が押し寄せることで知られています。その昔、神社の前の海岸には毎年12月から正月にかけてイカの大群が押し寄せました。



MAP:A2

## 黒木御所跡



別府港の東、湾に突き出た丘の上にあり、元弘2年(1332年)鎌倉幕府討幕に失敗し、隠岐へご配流された後醍醐天皇が再起をかけて再び島を出るまでの約1年間住まわれたといわれる伝承の地です。丘の上には御所の史跡の他、天皇をまつる黒木神社があり、昭和33年に県史跡に指定されています。



MAP:B2

## 船引運河



大正4年に西ノ島のほぼ中央にあった地峡を開いて造られた運河です。内海と外海を結び、漁業をはじめとする島の産業と島民生活を支え続けており、運河ができる前は、内海から外海へ出るために船を陸に引っ張り上げて越していたことから「船越」という地名が付いたと言われています。

MAP:A2



## 焼火神社



平成4年に国の重要文化財に指定され、江戸時代から全国に海上安全の神として知られた神社です。焼火山の中腹にあり、明治以前には焼火山・雲上寺と称していました。一般的には焼火権現として知られています。平安中期(1732年改築)の創建と言われ、社殿は大岩窟の中からせり出すように建てられています。

MAP:B3



## OKI伝説物語



### イカ寄せ浜の伝説

一説によれば、国づくりの神様だった由良比女命が出雲大社へ出かけ、芋桶に乗って隠岐へ帰る際、海に浸したその手をイカが噛み付いて(引っ張ったという説も)いたざらをしたため、そのお詫びとして毎年、神社の目の前に広がる由良の浜(イカ寄せ浜)にイカの大群がやってくるようになったのだそう。実際、昭和20年代ごろまでは、数万匹のイカの大群が押し寄せ、浜を埋め尽くしていたとの記録が残っており、人々は数百匹、数千匹のイカを手でつかんだり、カゴですくったりしながら「拾って」いたそうです。

### 西ノ島町より

中国地方で唯一運河を保有する西ノ島町。インフラ整備により大正4年に西ノ島のほぼ中央部にあった地峡を開削し造られ、島前の内海と外海の日本海を結び、漁業をはじめとする現在の島の産業の発展と島民の生活を支え続けています。今後も島民の産業及び生活を支えていくため、必要なインフラ整備を実施することにより、「西ノ島」にしかない魅力ある島づくりを目指しています。



# 西ノ島町 インフラMAP

NISHINOSHIMA CHO



- 公共トイレ
- 病院
- 充電スポット
- キャンプ場・体験施設
- 商店
- 自動販売機
- 郵便局・農協・銀行窓口&ATM
- 食事処
- ガソリンスタンド
- ダム
- 橋
- 道路、トンネル
- 港湾・漁港、空港
- 灯台
- エネルギー施設、発電所
- 海岸、運河・放水路
- 浄水場
- 自然公園・園地・遊歩道、公園
- 建築
- その他

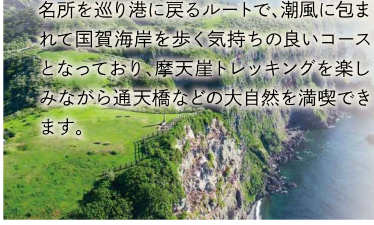
\*インフラマップへの掲載店舗等は、(一社)隠岐ジオパーク推進機構発行のパンフレット(令和4年5月現在の情報)を参考に作成しています。予めご了承ください。

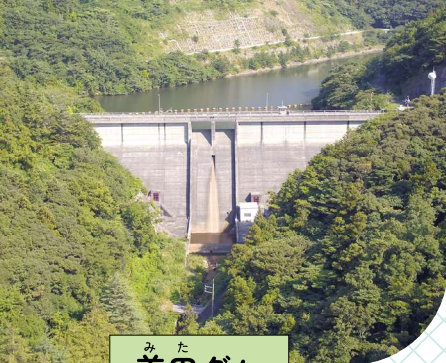
## 島前ウォーキング 西ノ島コース 約10km

西ノ島(西ノ島町)では、浦郷漁港から名所を巡り港に戻るルートで、潮風に包まれて国賀海岸を歩く気持ちの良いコースとなっており、摩天崖トレッキングを楽しみながら通天橋などの大自然を満喫できます。

## PICK UP/ 摩天崖トレッキング

海にそそり立つ断崖の上の草原を標高差約260mの絶景トレッキング  
国賀海岸の観光のハイライトといえば、巨大な刃物で切り落とされたような垂直の大絶壁、摩天崖。荒々しい岩肌とは裏腹に、その絶壁の上は柔らかな緑に覆われた草原。日本海とのコントラストも美しく、この世のものとは思えない絶景です。摩天崖の上から通天橋まで約2.5kmのトレッキングコースを歩いてみましょう。牛馬の間を抜けて草地を下りながら散策を楽しむことができます。  
スタートは摩天崖の上の駐車場。展望台からのパノラマを堪能したら、草原を下ります。草を食む牛や馬は、一見無関心に見えて、目だけはしっかりこちらの様子をうかがっています。不用意に触れたりしないよう適度な距離を保ちましょう。途中、突き出した岬の先端からは、先ほど下ってきた摩天崖と眼下に広がる奇岩を一望できます。ゴールは通天橋脇の展望スポットです。気の遠くなるような年月をかけて造り上げられた天然の橋に圧倒されます。





## みた 美田ダム

美田ダムは二級河川美田川に洪水調整、水道用水の確保などを目的として昭和53年に完成しましたが、平成3年と5年に発生した計画を上回る降雨による洪水被害を契機に、平成9年から美田ダム再開発事業に着手し、貯水池内の掘削を行うと共に、掘削部分の道路を付替えました。この事業の平成15年完成により、再開発前に比べ、25mプール(約300m<sup>3</sup>)で約430杯分多くの水を貯めることができました。また宮谷湖(ダム湖)外周の町道は、町民の散歩コースとして利用され、春には沿道の桜が開花します。

### ダムカードについて

問:隠岐支庁県土整備局島前事業部  
電:08514-7-9117 時:8:30~17:15  
(土・日・祝日は島前集合庁舎警備員室で配布)  
MAP:B2 ID:D-1



管:隠岐支庁県土整備局  
島前事業部  
所:西ノ島町美田(二級河川  
美田川水系美田川)  
目:洪水調整、水道用水、  
農業用水  
型:重力式コンクリートダム、  
堤高26.8m、堤頂長105.0m、  
総貯水量539千m<sup>3</sup>



美田川改修の歴史と西ノ島町の水不足  
美田川は、西ノ島の中央部に位置し、その源を焼火山北麓に発し、美田湾に注ぐ河川です。流域は急峻な山地が過半を占めているため、特に昭和39年7月の洪水では、家屋や農地に甚大な被害を受けました。一方で、西ノ島町は古くから飲料水に乏しく、特に昭和42年渇水時には節水はもとより、塩分や農薬を含む水を飲用したほどでした。そこで美田ダム開発事業に昭和46年着手、そして昭和53年に完成し、この二つの問題が一気に解消したハズでしたが…。



## みたじょうすいじょう 美田浄水場

西ノ島町の渇水対策として、美田ダムを水源に安定的な水道用水の確保を目的として美田ダム下流に整備されています。町内の約7割程度の水を供給する能力を有する施設です。毎年、西ノ島小学校4年生を対象に施設見学を実施し、水の作り方等の勉強会を行っています。

管:西ノ島町環境整備課 所:西ノ島町美田  
P:あり(10台以上) 見:可(要事前申込)  
型:急速ろ過方式、浄水能力1,613.8m<sup>3</sup>/日



MAP:B2 ID:W-1

## ひろば ヒメボタル広場



所:西ノ島町美田 P:あり

MAP:B2 ID:N-4

美田ダム貯水池周辺のヒメボタルについては、日本有数の群生地として知られており、毎年初夏になると無数の光が私たちの目を楽しませてくれます。



## みたこう 美田港

本港は、天然の良港にして帆船時代には寄港地として知られ、特に暴風時には小型船舶の避難港として利用されています。本町唯一の船引運河は本町北端に位置し、内海と外海を結ぶ航路として大正4年に建設され、以降各種船舶の運行に大きく貢献してきてきました。昭和38年国立公園に指定以来、国賀海岸線への観光コースとして船舶の往来も多くなり、昭和39年より港湾改修事業が実施されました。漁業者が外海へ向かうのに重要な港湾であり、港湾内の地区は市部、大津、小向、船越地区です。



管:西ノ島町環境整備課  
所:西ノ島町美田  
P:港湾近隣あり

MAP:B2 ID:P-10

美田港は、天然の良港です。  
この美田港の内海と外海を結ぶため、西ノ島町のほぼ中央にあった地峡を開いて船引運河が造られています。  
また、この美田港には、西ノ島町東の玄関口「別府港」と国賀海岸等の主要観光地を最短で結ぶ西ノ島大橋が架けられています。



## ふなびきうんが 船引運河

西ノ島町の中央部の細くくびれた、わずか300mの地峡に開削された運河です。運河は、大正3年から翌年にかけて完成しました。延長340m、幅5.5mの運河は、内海の美田湾と外海を最短距離で結ぶ画期的な事業で、漁業はもとより、島民の生活のあらゆる面で便利となりました。昭和39年の大改修で幅12mに拡幅され、一段と便利になるとともに、国賀を中心とする観光面で大きな効果をもたらしています。

管:西ノ島町環境整備課 所:西ノ島町美田  
竣:大正4年 昭和39年大改修 P:なし  
型:長さ340m、幅12m、水深3m



MAP:A2 ID:C-2



## にし の しまおおはし 西ノ島大橋

西ノ島町の東の玄関口「別府港」と浦郷地内を結ぶ国道485号のバイパスの一部として美田湾を跨ぐ橋です。国道485号は島内交通を担う幹線であるとともに国賀海岸等への主要観光ルートであり、橋ができるまでは美田湾を大きく迂回する狭隘な道路の通行を強いられていましたが、橋の完成により解消されました。毎年8月16日には、精霊船(シャラ船)が西ノ島大橋下を通ります。

管:隠岐支庁県土整備局 所:西ノ島町浦郷  
竣:平成16年 型:PC3径間連続ラーメン橋  
型:長さ215m、幅員11.25m



MAP:A2 ID:B-1

# 環境治水・利水



# おすすすめ



【島前】  
DOZEN  
西ノ島町

# 絶景を一望できる インフラ



西ノ島町の西側には、隠岐を代表する景勝地「国賀海岸」を一望できる赤尾スカイラインと隠岐島前湾内（島前カルデラ）や日本海を見渡せる鬼舞スカイラインがあります。  
また、国賀めぐり定期観光船により海からも国賀海岸の絶景を楽しむことができます。

国賀海岸を一望！



## あかお 赤尾スカイライン

全長1827.6mあるスカイラインで、終点にある赤尾展望所は隠岐を代表する世界一級の景勝地「国賀海岸」を一望できる人気スポットで、周辺一帯の放牧地では、牛馬がのんびり草を食べる姿が見られます。また、赤尾展望所は大山隠岐国立公園に指定されている国賀海岸にある代表的な展望所で、「日本の夕日百選」にも認定されています。

管：西ノ島町環境整備課 所：西ノ島町浦郷  
P：あり（展望所内） 型：全長1,827.6m、幅4.9m～13.3m

MAP:A3 ID:R-2



## みみうら 耳々浦トンネル



耳々浦トンネルは、昭和43年に完成し、平成9年に一部改良しています。トンネルを抜け道なりに進めば、東国賀海岸の中央にある耳々浦営場（キャンプ場）があります。春から秋まで（4月～10月）開設されておりますが、テントサイトから出ると数秒で小石の浜に着き、自然豊かな青い海で海水浴などが楽しめます。

管：西ノ島町環境整備課 所：西ノ島町別府  
竣：昭和43年 型：長さ99m、馬蹄型

MAP:B2 ID:R-4



## おにまい 鬼舞スカイライン

全長3608.5mあるスカイラインで、終点にある展望所からは、隠岐島前湾内（島前カルデラ）と日本海を見渡せる絶景スポットがあり、周辺一帯の放牧地では、牛馬がのんびり草を食べる姿が見られます。中世期から近代まで牧畑という独特な輪転式農法が行われ、牧と畑を分けるための石垣「合垣（あいがき）」がこの周辺に残されています。

管：西ノ島町環境整備課  
所：西ノ島町浦郷 P：あり（展望所内）  
型：全長3,608.5m、幅3.0m～13.5m

MAP:A3 ID:R-3



広大な日本海  
夕日も絶景！



## くにが ていきかんこうせん 国賀めぐり定期観光船

隠岐諸島を代表する景勝地「国賀海岸」を巡る遊覧船です。大自然が削り上げた大小の奇岩類や洞窟群を間近で楽しめます。高さ257mの大断崖「摩天崖」は必見です。ハイライトは二つの洞窟が奥で合流し長さが200m以上ある「明暗の岩屋」です。洞窟へは前進で侵入し後進で通り抜けるという珍しい体験をすることができます。

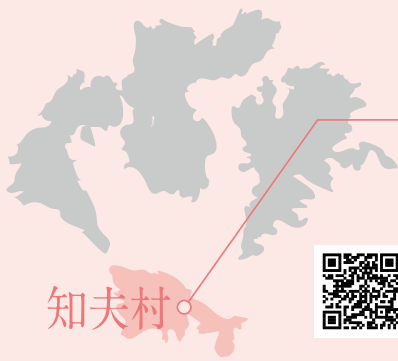
問：隠岐観光株式会社 MAP:A2 ID:O-4





# 知夫村

地球は丸イ



## 知夫村DATA

- 人口:623人(R4.10月末)
- 面積:13.7km<sup>2</sup>
- 村のスローガン:活力ある住みよい島
- 特産品:サザエ、アワビ、岩ガキ、板わかめ
- PRスポット:赤ハゲ山、赤壁
- 主なお祭り・イベント:お大師さん、野だいこん祭り、一宮神社大祭、サザエのつかみ取り



知夫村

360度

知夫里島は隠岐諸島最南端に位置し、島根県唯一の村です。

隠岐諸島の中でも対馬海流の影響を強く受け、夏はしのぎやすく、冬は比較的温和で降雨量・積雪量は少ない気候です。

島の西側の海岸線には、高さ200mにも及ぶ絶壁「赤壁」が続きます。赤色の岩肌と黒白の鮮やかな色彩の壮大な景色は、自然の力強さと歴史を感じることができるとも珍しいものです。また、村には人口と同じくらい数の牛がいて、至るところでんびりとした姿を見ることが出来ます。

現在の村名の由来は、知夫里島が隠岐諸島最南端にあつて、本土より来る船が必ず寄港したこと、から、道路の神「道触(ちぶりの)神(かみ)」をこの地に奉祀して沖合を航行する船の安全を祈ったことからこの地名が生まれたとされています。

紀貫之の「土佐日記」には、「わたつ海のちぶりの神に手向きするぬさのおひかせやまず吹かん」と記されています。

かつて、後醍醐天皇が配流され最初に着いた港も知夫里島です。

## 赤ハゲ山



知夫里島の最高峰赤ハゲ山(325m)は360度見渡せる好展望地です。世界でも珍しいカルデラ湾に浮かぶ島前の島々や、天気

が良ければ島根半島や大山が望めます。広々とした丘陵地帯に牛が放牧されています。また、野ダイコンが群生していて、5月初旬頃にはピンクの花が山一面に咲きます。



MAP:B4

## 赤壁



西海岸約1キロに渡って高さ50m~200mに及ぶ断崖で、風化した凝灰岩が日本海の荒波によってえぐり取られた岩肌が続きます。赤や紫の色が印象的で、雨の日の色、または夕日を浴びた色など、気象条件によって様々な姿を見せてくれます。



MAP:A4

## 一宮神社大祭

一宮神社大祭(大祭は隔年)に合わせて行われる「神楽」や「しばや」を見ることが出来ます。「しばや」は、子ども歌舞伎の村芝居です。子どもたちにとってはまさに晴れ舞台。知夫里の伝統と文化を次の世代に伝えています。

MAP:B4



## お大師さん参り

一年に一度、旧暦の3月23日にお堂のある地区数か所で、参拝者に郷土料理などを振る舞う行事です。それぞれの地区の伝統の味、自慢の味を何か所でも食べ歩くことができます。知夫里の生活と文化に触れる絶好の機会です。参加費はお賽銭です。

## 河井の地蔵の湧水



松尾山松養寺の麓、県道沿いにある地蔵菩薩像の横から湧く水は、夏でも涸れることのない霊水として島民の信仰を集め、春の

行事であるお大師参りも行われています。一度も涸れたことがなく、水が豊かな島として知られる知夫村を代表する湧き水です。「島根の名水百選」に選ばれており、飲料水・料理用として島民に親しまれています。かわいいタヌキの石像が目印です。



MAP:B4

## OKI伝説物語



### お松のどっさり節

島の漁師の娘、お松は、島に立ち寄った船乗りと恋に落ちました。船が島を出るとき、二人はまた会おうと約束します。お松は、船乗りがよく歌っていた越後の歌を口ずさみながら、再会の日を待ちました。越後の歌を知る人が、お松の歌は少し違うと言うと、お松は、「どっさりくっさり(どうにかこうにか)似ています」と寂しそうに笑います。船乗りが島に再び来ることはありませんでした。



知夫村のインフラは、地域の特色や自然環境に配慮しています。島の限られた土地での機能性を確保するため、交通の流れや利便性・安全性を考慮し、美しさと実用性を融合させることで、住民と訪れる人々に快適な体験ができるインフラ整備を実施することにより魅力ある島づくりを目指しています。

知夫村より

0 0.5 1 1.5 2km

# 知夫村 インフラMAP

CHIBU MURA



- |         |             |                 |            |
|---------|-------------|-----------------|------------|
| 公共トイレ   | 病院          | 充電スポット          | キャンプ場・体験施設 |
| 商店      | 自動販売機       | 郵便局・農協・銀行窓口&ATM |            |
| 食事処     | ガソリンスタンド    |                 |            |
| ダム      | 港湾・漁港・空港    | 海岸・運河・放水路       | 建築         |
| 橋       | 灯台          | 浄水場             | その他        |
| 道路、トンネル | エネルギー施設、発電所 | 自然公園・園地・遊歩道、公園  |            |

※インフラマップへの掲載店舗等は、(一社)隠岐ジオパーク推進機構発行のパンフレット(令和4年5月現在の情報)を参考に作成しています。予めご了承ください。

## 島前ウォーキング

### 知夫コース 約13km

知夫里島(知夫村)では、来居港から車で赤ハゲ山展望台まで移動、その後頂上から港を目指すコースとなっており、赤壁などを散策しながら山を下ります。



## PICK UP/

### 赤ハゲ山・赤壁散策

島の最高峰から島前カルデラを見渡す、赤・黄・紫に輝く村きっての景勝地

325mと知夫里島最高峰の赤ハゲ山。頂上には展望台があり、ぐるっと360度見渡すことができ島前カルデラも望めます。また、頂上から少し下った所には後醍醐天皇が滞在したことを示す石碑が建っています。春には野大根の花が咲き乱れとても綺麗です。途中、脇道の遊歩道を歩くと赤壁展望所があり、突如目の前に現れる断崖の迫力に圧倒されます。高さ200mにもなる海からそそり立つ壁は、岩に含まれる鉱物の影響で鮮やかに輝くことから赤壁と呼ばれています。国の名勝天然記念物に指定されています。





【島前】  
DOZEN  
知夫村

# 絶景と橋の



青空と青い海を見晴らす位置に架かる橋の数々。隠岐諸島で唯一のループ橋は、島の玄関口として来島者を迎えるフェリーターミナルとの景観も優れています。

また、島津島へ渡るお松橋は、アーチ型の曲線部の美しい橋となっています。

さらに知夫漁港の臨港道路として海上に架けられた汐見橋は、高架部と橋梁部まで全体的になめらかな橋となり、小島な漁村の風景に馴染んでいます。

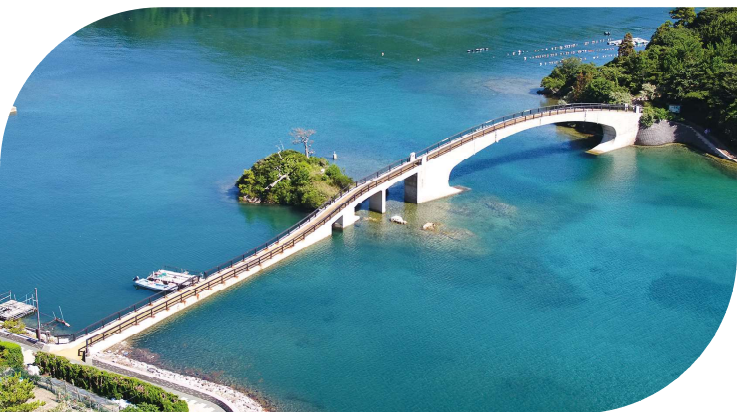
## ちぶりおおはし 知夫里大橋

来居港フェリーターミナルと村内唯一の県道である知夫島線を連絡する臨港道路に架橋された橋長180mの1重ループ橋です。岸壁の目の前にあるループ橋は珍しい光景であり、来島者を迎えるゲートブリッジとして親しまれています。



管：隠岐支庁農土整備局  
所：知夫村来居  
型：長さ180m、  
3径間連続PC曲線箱桁橋（2連）  
竣：平成11年

MAP: B4 ID: B-2



## しおみばし 汐見橋

知夫漁港の海上に架けられている橋です。橋梁形式は、橋梁としての機能を確保するとともに、環境への影響を最小限に抑えるため、基礎形式に多柱式杭基礎捨石併用方式を採用し、港内の消波対策と水質保全の両立を図っています。



## まつばし お松橋

島津島へ渡る遊歩橋となっており、アーチ型の曲線部が美しく、橋の上からは透き通るような海の青さと白い岩肌のコントラストが楽しめます。島津島には、橋の名前の由来となった「お松の碑」があり、お松と北前船の若い船頭との悲恋が生んだ隠岐の代表的な民謡である「どっさり節」発祥の地として、お松の悲しい恋物語が語り継がれています。

天候と波の状態によりお松橋と海面とがハートを描くことがあります。



管：知夫村建設課 所：知夫村薄毛 型：長さ50m 竣：平成17年

MAP: B5 ID: B-4



管：隠岐支庁農林水産局 所：知夫村多沢  
型：長さ160m(高架式108m橋梁式52m)、幅員8.2m、3径間、基礎形式は多柱式杭基礎捨石併用方式 竣：平成16年

MAP: B4 ID: B-3



【島前】  
DOZEN  
知夫村

# おすすめ インフラ



## 牧畑と名垣

赤ハゲ山に残る名垣(石垣)は、「牧畑」という隠岐で発達した独自の農法で土地を区切るために用いられたものです。区切られた土地を畑作(麦・稗・粟・大豆・小豆)と放牧の4回転で行う農法で、急峻地で平地が少なく、表土に乏しく痩せた土地を有効利用するための知恵でした。牛や馬を放牧して土地を肥やし、その後には作物を栽培します。これは、高台でも地下深くから淡水が押し上げられ、湧き水が豊富にあることから考えられたものです。自然の石を使い、地形にあわせて積んだ名垣は景観的にも価値があるものです。



所:知夫村  
P:あり(3台)

MAP:B4 ID:0-5

○牧畑:総面積654ha ○名垣:高さ1.5m~2.0m/幅約1.5m/長さ約1km

赤ハゲ山には、「牧畑」という、隠岐で発達した独自の農法で使われていた名垣(石垣)が残っています。火山活動でできた島であり、「牧畑」は平地が少なく土地が痩せている中で自給自足をするために考えられた農法ですが、島全体に豊富な湧水があるからこそ可能となりました。  
知夫里島最大の名所である赤壁は、陸からの眺望のほかに「赤壁遊覧船」により海からの絶景を楽しむことができます。



### 隠岐の湧き水のしくみ

**淡水レンズ**  
と呼ばれる水の層  
水を通す層が海面下  
までずっと続いている  
からできる。

海水の圧力によって  
淡水が押し上げられる

ずっと下まで水を通す層  
軽い淡水の層  
重い海水の層

隠岐の湧き水は、地下に  
ある淡水のタンクから  
割れ目を伝って上がっ  
てくるんだ。海水と淡水  
は重さが違うから混じ  
り合わないんだよ。

重さが違うため  
混じらない!

## 赤壁遊覧船

知夫里島の名所「赤壁」を海から展望できる遊覧船です。最も高い所は約200m、崖の断面は様々な色層を持ち、日中と夕方では異なる姿が見られます。特にサンセットの時間帯は崖一面がオレンジ色に染まり、陸からの眺望にもまして、海からの視界に広がる雄大さに圧倒されます。

問:知夫里島観光協会

MAP:AB4 ID:0-6



赤壁の断崖絶壁は  
迫力満点!夕日に染まる  
日本海の絶景は  
庄巻の一言!



## 郡浄水場

島全体に湧き水が豊富で、村の簡易水道はこうした地下からの湧き水を水源としています。浅井戸から取水し、浄水場で浄水したのち配水池へ貯水されています。近くには知夫村を代表する湧水「河井の地蔵の湧水」があります。

管:知夫村建設課  
所:知夫村郡  
型:SUSパネルフレーム構造  
竣:平成30年

MAP:B4 ID:W-2

